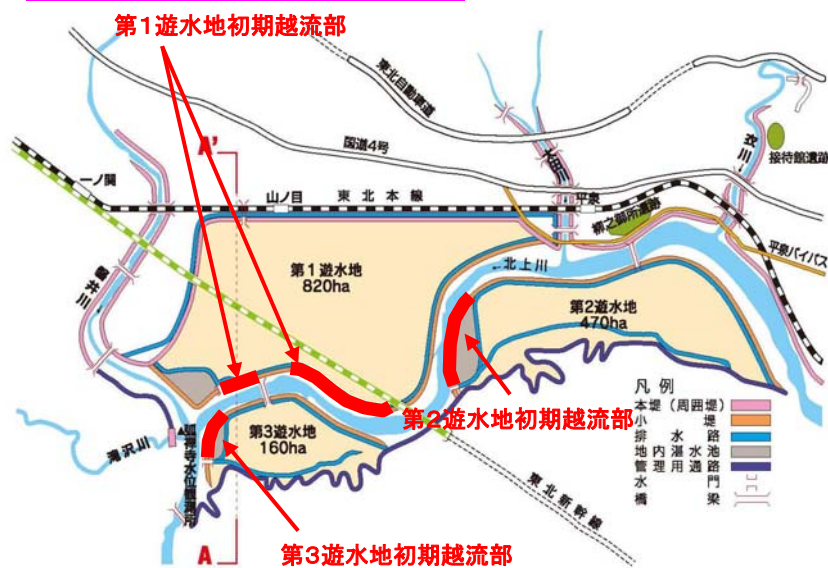


小堤整備の一環として初期越流堤をつくっています。

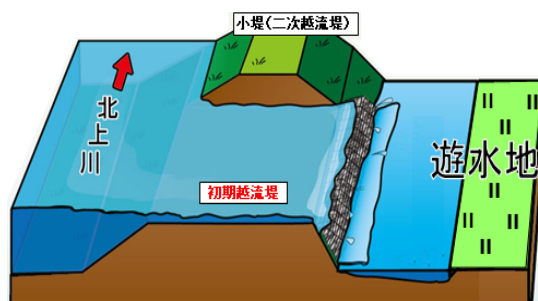
一関遊水地は、既に市街地をまもる周囲堤は完成しており、現在は遊水地内の農耕地を概ね10年に1回程度の洪水からまもる小堤を整備しているところ(周囲堤と小堤の役割については[あいろぼーとNo.102](#)をご覧ください。)ですが、今年度より小堤整備の一環として初期越流堤の工事を行っています。

初期越流堤とは、洪水の際に水量を調整するため、遊水地内に河川の水を最初に取り入れる場所です。洪水を取り入れる場所であることから一般部の小堤(二次越流堤)よりも堤防高が低く、堤防保護のための護岸を全面に設置する構造となっています。今年度は、第1遊水地及び第2遊水地において6つの工事が鋭意施工中です。

初期越流堤の整備場所



初期越流堤イメージ



次号のあいろぼーとNo.113号では、初期越流堤をつくっている工事のうち「一関遊水地第1小堤舞川地区下流築堤護岸工事」を施工している「株式会社いわい」さんから初期越流堤の構造や現場の様子を紹介して頂く予定です!!

管内で震度4の地震が発生!!

12月7日(金)17:18に三陸沖で最大震度5弱を記録する地震が発生しました。週末の帰宅時間を襲った今回の地震は揺れが長く続き、甚大な被害をもたらした東日本大震災を思い起こしてしまった方もいらっしゃるのではないでしょうか?

この地震により一関出張所管内では一関市川崎町を除き震度4を観測したため、翌日早朝から堤防や樋門樋管などの河川管理施設と全工事現場の点検を実施し異常がないことを確認しました。

地震はもう発生して欲しくありませんが、今後もまだ数年は大きな余震の可能性があるとされています。皆さんもこれを機に非常時の備えは十分か改めて確認しましょう。



点検を行った、8日朝6:30頃の一関遊水地記念公園。前日からの降雪で一面銀世界に。



降雪の中、樋門の点検を行う操作員さん。土曜日の早朝からお疲れさまです!!



国で管理する河川では、日々の河川パトロールのほか、震度4以上の地震が発生した場合や出水があった場合には、洪水から皆さんの生命・財産をまもる河川管理施設の臨時点検を行っています。